

開示事項	ページ	CONTENTS
第1章 環境報告の基礎情報		
1. 環境報告の基本的要件		
(1) 報告対象組織	37-38, 裏表紙	編集方針について, 奥付
(2) 報告対象期間		
(3) 基準・ガイドライン等		
(4) 環境報告の全体像	01-02, 37-38	CONTENTS, 編集方針について
2. 主な実績評価指標の推移		
(1) 主な実績評価指標の推移	11-12	サステナブルキャンパスのマネジメント手法
第2章 環境報告の記載事項		
1. 経営責任者のコミットメント		
(1) 重要な環境課題への対応に関する 経営責任者のコミットメント	01-02	トップメッセージ
2. ガバナンス		
(1) 事業者のガバナンス体制	09-10	ガバナンス・コンプライアンスの強化
(2) 重要な環境課題の管理責任者	06	サステナビリティ推進体制
(3) 重要な環境課題の管理における 取締役会及び経営業務執行組織の役割		
3. ステークホルダーエンゲージメントの状況		
(1) ステークホルダーへの対応方針	21, 32, 34-35, 36	ステークホルダーとの協議, 地域への貢献、地域との連携, 社会連携 / 安全衛生, ダイバーシティ&インクルージョン / 先住民
(2) 実施したステークホルダーエンゲージメントの概要		
4. リスクマネジメント		
(1) リスクの特定、評価及び対応方法	09-10	ガバナンス・コンプライアンスの強化
(2) 上記の方法の全社的な リスクマネジメントにおける位置付け		
5. ビジネスモデル		
(1) 事業者のビジネスモデル	03-04, 07, 19, 20, 13-15, 16-18	北海道大学2022ハイライト, 基本理念・戦略, 認定・プロジェクト・採択, 研究・教育, サステナビリティ活動, サステナブルキャンパスマネジメント本部の活動 とWGの取り組み
6. バリューチェーンマネジメント		
(1) バリューチェーンの概要		—
(2) グリーン調達の方針、目標・実績	33	インフラ投資と調達に関する取り組み
(3) 環境配慮製品・サービスの状況	13-15, 16-18	サステナビリティ活動, サステナブルキャンパスマネジメント本部の活動 とWGの取り組み
7. 長期ビジョン		
(1) 長期ビジョン	07, 08	基本理念・戦略, サステナビリティに関する方針・施策
(2) 長期ビジョンの設定期間		
(3) その期間を選択した理由		
8. 戦略		
(1) 持続可能な社会の実現に向けた事業者の事業戦略	08	サステナビリティに関する方針・施策
9. 重要な環境課題の特定方法		

開示事項	ページ	CONTENTS
(1) 事業者が重要な環境課題を特定した際の手順		—
(2) 特定した重要な環境課題のリスト	11-12	サステナブルキャンパスのマネジメント手法
(3) 特定した環境課題を重要であると判断した理由	11-12	サステナブルキャンパスのマネジメント手法
(4) 重要な環境課題のバウンダリー		—
10. 事業者の重要な環境課題		
(1) 取組方針・行動計画	08	サステナビリティに関する方針・施策
(2) 実績評価指標による取組目標と取組実績		
(3) 実績評価指標の算定方法	11-12	サステナブルキャンパスのマネジメント手法
(4) 実績評価指標の集計範囲		
(5) リスク・機会による財務的影響が大きい場合は、それらの影響額と算定方法		—
(6) 報告事項に独立した第三者による保証が付与されている場合は、その保証報告書	37-38	編集方針について
参考資料 主な環境課題とその実績評価指標		
1. 気候変動		
温室効果ガス排出		
(1) スコープ1 排出量	22, 25	環境への取り組み, 温室効果ガス排出と、カーボンニュートラルの取り組み
(2) スコープ2 排出量		
(3) スコープ3 排出量		
原単位		
(1) 温室効果ガス排出原単位	25	温室効果ガス排出と、カーボンニュートラルの取り組み
エネルギー使用		
(1) エネルギー使用量の内訳及び総エネルギー使用量	22, 23-24	環境への取り組み, エネルギー消費量と再エネ発電の取り組み, 省エネルギーの取り組み
(2) 総エネルギー使用量に占める再生可能エネルギー使用量の割合		
2. 水資源		
(1) 水資源投入量	26	水と排水
(2) 水資源投入量の原単位		
(3) 排水量		
(4) 事業所やサプライチェーンが水ストレスの高い地域に存在する場合は、その水ストレスの状況	26, 27-28, 30	水と排水, 廃棄物/資源循環, ごみ削減・資源循環の取り組み 環境コンプライアンス
3. 生物多様性		
(1) 事業活動が生物多様性に及ぼす影響	29	生物多様性
(2) 事業活動が生物多様性に依存する状況と程度		
(3) 生物多様性の保全に資する事業活動		
(4) 外部ステークホルダーとの協働の状況		
4. 資源循環		
資源の投入		
(1) 再生不能資源投入量		—
(2) 再生可能資源投入量		—
(3) 循環利用材の量		—
(4) 循環利用率 (=循環利用材の量/資源投入量)		—
資源の廃棄		
(1) 廃棄物等の総排出量	27, 30	廃棄物/資源循環, 環境コンプライアンス
(2) 廃棄物等の最終処分量		
5. 化学物質		
(1) 化学物質の貯蔵量		—

開示事項	ページ	CONTENTS
(2) 化学物質の排出量	27-28	廃棄物／資源循環
(3) 化学物質の移動量		—
(4) 化学物質の取扱量（使用量）		—
6. 汚染予防		
全般		
(1) 法令遵守の状況	30	環境コンプライアンス
大気保全		
(1) 大気汚染規制項目の排出濃度、大気汚染物質排出量		—
水質汚濁		
(1) 排水規制項目の排出濃度、水質汚濁負荷量		—
土壌汚染		
(1) 土壌汚染の状況		—